

平成16年6月9日

株 主 各 位

埼玉県狭山市柏原393番地

八千代工業株式会社

代表取締役社長 大 竹 茂

## 第51回定時株主総会招集ご通知

拝啓 ますますご清栄のこととおよろこび申しあげます。

さて、当社第51回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申しあげます。

なお、当社は平成16年5月7日開催の取締役会において、第51回定時株主総会から書面による議決権の行使制度を採用することを決議いたしました。つきましては、当日ご出席願えない場合には、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記参考書類をご検討くださいます。同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、ご押印のうえ、ご返送くださいますようお願い申しあげます。

敬 具

### 記

1. 日 時 平成16年6月24日（木曜日）午後2時
2. 場 所 埼玉県狭山市柏原393番地  
当社本社2階
3. 会議の目的事項  
報 告 事 項 第51期（平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）の営業報告書、貸借対照表及び損益計算書の内容報告の件  
決 議 事 項  
第1号議案 第51期利益処分案承認の件  
第2号議案 役員賞与支給の件  
第3号議案 定款一部変更の件  
議案の要領は、後記の「議決権の行使についての参考書類」（15頁から16頁まで）に記載のとおりであります。  
第4号議案 取締役15名選任の件  
第5号議案 監査役2名選任の件  
第6号議案 退任取締役及び退任監査役に対する退職慰労金贈呈の件

以 上

~~~~~  
ご案内 当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申しあげます。

〔添付書類〕

## 営業報告書

平成15年4月1日から  
平成16年3月31日まで

### 1. 営業の概況

#### (1) 営業の経過及び成果

当期のわが国の経済は、民間設備投資は増加し、個人消費も持ち直しており、また、雇用情勢は依然として厳しい状況にあるものの、回復の兆しがみられるなど、景気は総じて着実な回復基調のうちに推移しました。

自動車業界におきましては、国内販売、輸出のいずれもほぼ前年並みに推移いたしました。

このような情勢のもと、当社は技術開発及び生産体制の強化など企業体質の強化に努めてまいりました。技術開発面では、高張力鋼板による軽量・高強度ボディ部品の加工技術の実用化など、引き続き積極的な研究開発活動を展開し、生産面では生産体質改革をさらに推進するとともに、生産能力拡大を図ってまいりました。

この結果、当期の売上高は2,033億5千2百万円（前期比4.0%増）となりました。利益につきましては、売上構成差、減価償却費の増加及び社会保険料の総報酬制移行に伴う費用の増加などにより、経常利益は16億4千9百万円（前期比49.7%減）、当期純利益は8億6千9百万円（前期比38.0%減）となりました。

分野別売上高の状況につきましては、自動車部品分野では、主としてボディ部品などが減少したことにより、売上高は785億5千1百万円（前期比3.9%減）となりました。

自動車組立分野では、「ライフ」などの受注台数が増加したことなどにより、売上高は1,246億2千8百万円（前期比9.8%増）となりました。

その他の分野の売上高は1億7千3百万円（前期比5.2%増）となりました。

なお、操業準備中でありました八千代工業（中山）有限公司（中国）は、昨年9月に樹脂製フュエルタンクの生産を開始いたしました。

#### (2) 対処すべき課題

今後のわが国経済の見通しにつきましては、景気は回復基調にあるものの、雇用情勢の悪化、為替相場の動向など不透明な部分も多く、予断を許さない情勢にあります。

当社を取り巻く自動車業界におきましても、コスト・品質面での競争が一段と激化することが予測されます。

当社といたしましては、このような厳しい環境に迅速かつ柔軟に対応していくために、国内外の生産拠点において生産体質改革を進め、コスト競争力の向上及び品質の一層のレベルアップに向け、積極的に取り組んでまいります。

また、引き続き技術開発力の強化及び管理体制の効率化を図るなど、総力をあげて業績の向上に努めるとともに、地球環境の保全についても取り組んでまいります。

(3) 設備投資及び資金調達の状況

当期中に実施いたしました設備投資の総額は、76億8千万円であり、その内訳は次のとおりであります。

|             |           |
|-------------|-----------|
| 自動車部品生産関連設備 | 23億5千6百万円 |
| 自動車組立生産関連設備 | 52億6千4百万円 |
| その他の投資      | 5千9百万円    |

なお、これらに要した資金は自己資金及び銀行借入により充当いたしました。

(4) 営業成績及び財産の状況の推移

| 区 分            | 第 48 期<br>(平成12年4月1日から<br>平成13年3月31日まで) | 第 49 期<br>(平成13年4月1日から<br>平成14年3月31日まで) | 第 50 期<br>(平成14年4月1日から<br>平成15年3月31日まで) | 第51期(当期)<br>(平成15年4月1日から<br>平成16年3月31日まで) |
|----------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------------------------|
| 売 上 高(百万円)     | 201,796                                 | 201,452                                 | 195,466                                 | 203,352                                   |
| 経 常 利 益(百万円)   | 2,306                                   | 2,986                                   | 3,275                                   | 1,649                                     |
| 当 期 純 利 益(百万円) | 1,385                                   | 1,677                                   | 1,402                                   | 869                                       |
| 1株当たり当期純利益 (円) | 57.65                                   | 69.78                                   | 57.51                                   | 36.19                                     |
| 総 資 産(百万円)     | 74,810                                  | 75,971                                  | 71,813                                  | 85,849                                    |
| 純 資 産(百万円)     | 22,503                                  | 24,018                                  | 24,390                                  | 25,263                                    |
| 1株当たり純資産 (円)   | 935.98                                  | 999.13                                  | 1,014.26                                | 1,051.53                                  |

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は期中の平均発行済株式数により、1株当たり純資産は期末の発行済株式数によりそれぞれ算出しております。なお、第48期まではそれぞれ自己株式数を含めて算出しておりましたが、第49期より、自己株式数を控除して算出しております。
2. 第50期より、1株当たり当期純利益の算定にあたっては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成14年9月25日 企業会計基準委員会)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成14年9月25日 企業会計基準委員会)を適用しております。
3. 当期の状況につきましては、「1. 営業の概況」の(1) 営業の経過及び成果に記載のとおりであります。

## 2. 会 社 の 概 況 (平成16年 3月31日現在)

### (1) 主要な事業内容

当社が現在行っている事業の主なものは、次のとおりであります。

- ・自動車及び自動車部品の製造、販売及び修理
- ・金属製品及び樹脂製品の製造及び表面処理加工

### (2) 主要な営業所及び工場

| 名 称         | 所 在 地             |
|-------------|-------------------|
| 本 社         | 埼 玉 県 狭 山 市       |
| 柏 原 工 場     | 埼 玉 県 狭 山 市       |
| 鈴 鹿 工 場     | 三 重 県 鈴 鹿 市 他     |
| 四 日 市 製 作 所 | 三 重 県 四 日 市 市     |
| 栃 木 研 究 所   | 栃 木 県 塩 谷 郡 氏 家 町 |

### (3) 株 式 の 状 況

|              |             |
|--------------|-------------|
| 会社が発行する株式の総数 | 70,000,000株 |
| 発行済株式の総数     | 24,042,700株 |
| 株 主 数        | 1,163名      |

### (4) 大 株 主 の 状 況

| 株 主 名         | 当 社 へ の 出 資 状 況 |          | 当 社 の 大 株 主 へ の 出 資 状 況 |          |
|---------------|-----------------|----------|-------------------------|----------|
|               | 持株数(千株)         | 議決権比率(%) | 持株数(千株)                 | 議決権比率(%) |
| 本田技研工業株式会社    | 8,294           | 34.6     | 798                     |          |
| 大 竹 榮 一       | 4,954           | 20.7     |                         |          |
| 株式会社三井住友銀行    | 1,137           | 4.7      |                         |          |
| 株式会社東京三菱銀行    | 859             | 3.6      |                         |          |
| 埼玉車体株式会社      | 838             | 3.5      |                         |          |
| 八千代工業従業員持株会   | 793             | 3.3      |                         |          |
| 大 竹 好 子       | 709             | 3.0      |                         |          |
| 株式会社 U F J 銀行 | 701             | 2.9      |                         |          |

- (注) 1. 当社は株式会社三井住友銀行の完全親会社である株式会社三井住友フィナンシャルグループの普通株式(106.87株、議決権比率0.0%)を所有しております。
2. 当社は株式会社東京三菱銀行の完全親会社である株式会社三菱東京フィナンシャル・グループの普通株式(66.23株、議決権比率0.0%)を所有しております。
3. 当社は株式会社 U F J 銀行の完全親会社である株式会社 U F J ホールディングスの普通株式(23.41株、議決権比率0.0%)を所有しております。

## (5) 自己株式の取得、処分等及び保有の状況

|                  |         |
|------------------|---------|
| 取得した株式           |         |
| 単元未満株式の買取りによる取得  |         |
| 普通株式             | 2,260株  |
| 取得価額の総額          | 1,392千円 |
| 処分した株式           |         |
| 単元未満株式の買増請求による処分 |         |
| 普通株式             | 185株    |
| 処分価額の総額          | 117千円   |
| 決算期末において保有する株式   |         |
| 普通株式             | 17,175株 |

## (6) 従業員の状況

| 従業員数   | 前期末比増減 | 平均年令  | 平均勤続年数 |
|--------|--------|-------|--------|
| 2,243名 | 34名    | 38.1才 | 14.6年  |

(注) 上記は、正規従業員の状況であります。

## (7) 企業結合の状況

重要な子会社の状況

| 会社名                                             | 資本金               | 議決権比率 | 主要な事業内容                                                                                         |
|-------------------------------------------------|-------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ヤチヨ オブ オンタリオ<br>マニファクチュアリング<br>インコーポレーテッド(カナダ)  | 31,743千<br>カナダドル  | 100%  | 自動車部品の製造及び<br>販売                                                                                |
| ヤチヨ インダストリー<br>(ユーケー)リミテッド(英国)                  | 8,635千<br>英ポンド    | 100%  | ユーワイティーリ<br>ミテッドの持株会社                                                                           |
| サイアム ヤチヨ カンパニー<br>リミテッド<br>(タイ)                 | 230,000千<br>タイバーツ | 93.6% | 自動車部品の製造及び<br>販売                                                                                |
| ヤチヨ オブ アメリカ<br>インコーポレーテッド(米国)                   | 12,400千<br>米ドル    | 100%  | エーワイマニファクチュアリン<br>グ リミテッド、ユー エス ヤチヨ<br>インコーポレーテッド及びヤチヨ<br>マニファクチュアリング オブ ア<br>ラバマ エル エル シーの持株会社 |
| ワイ エム テクノロジー<br>インコーポレーテッド(カナダ)                 | 5,800千<br>カナダドル   | 60%   | 自動車部品等の金型、<br>治具及び検具の製造及<br>び販売                                                                 |
| ユー エス ヤチヨ インコーポ<br>レーテッド<br>(米国)                | 16,000千<br>米ドル    | 100%  | 自動車部品の製造及び<br>販売                                                                                |
| ヤチヨ マニファクチュア<br>リング オブ アラバマ<br>エル エル シー<br>(米国) | 4,230千<br>米ドル     | 100%  | 自動車部品の製造及び<br>販売                                                                                |
| 八千代工業(中山)有限公司<br>(中国)                           | 8,000千<br>米ドル     | 100%  | 自動車部品の製造及び<br>販売                                                                                |
| 合志技研工業株式会社                                      | 500百万円            | 52.4% | 自動車部品の製造及び<br>販売                                                                                |
| 株式会社ウエムラテック                                     | 100百万円            | 100%  | 自動車部品の製造及び<br>販売                                                                                |

| 会 社 名                                            | 資 本 金            | 議決権比率 | 主 要 な 事 業 内 容 |
|--------------------------------------------------|------------------|-------|---------------|
| 株 式 会 社 泗 水 テ ッ ク                                | 40百万円            | 100%  | 自動車部品の製造及び販売  |
| 株 式 会 社 合 志 テ ッ ク                                | 50百万円            | 80%   | 自動車部品の製造及び販売  |
| サイアム ゴウシ マニュ<br>ファクチュアリング カンパニー<br>リミテッド<br>(タイ) | 180,000千<br>タイバツ | 75%   | 自動車部品の製造及び販売  |
| ゴウシ タンロン オートパーツ<br>カンパニー リミテッド<br>(ベトナム)         | 5,700千<br>米ドル    | 55%   | 自動車部品の製造及び販売  |

(注) 印は子会社による所有を含む比率で表示しております。

#### その他の重要な企業結合の状況

| 会 社 名                                | 資 本 金          | 議決権比率 | 主 要 な 事 業 内 容 |
|--------------------------------------|----------------|-------|---------------|
| エー ワイ マニュファクチュア<br>リング リミテッド<br>(米国) | 14,400千<br>米ドル | 50%   | 自動車部品の製造及び販売  |
| ユー ワイ ティー リミテッド<br>(英国)              | 4,000千<br>英ポンド | 35%   | 自動車部品の製造及び販売  |

(注) 印は子会社による所有を含む比率で表示しております。

#### 企業結合の経過

ヤチヨ インダストリー(ユーカー)リミテッドは、5,600千英ポンドの増資を行い、当社が全額引受けました。

#### 企業結合の成果

上記の重要な子会社14社は連結対象子会社であり、その他の重要な企業結合の状況に記載の2社は持分法適用会社であります。

当期の連結売上高は2,496億9千1百万円(前期比10.7%増)、連結当期純利益は17億4千6百万円(前期比8.0%減)となりました。

#### その他の重要な企業結合の成果

本田技研工業株式会社は当社の議決権の34.6%を所有しており、当社は同社の持分法適用会社であります。

## (8) 主要な借入先の状況

| 借入先             | 借入金残高<br>(百万円) | 借入先が有する当社の株式 |          |
|-----------------|----------------|--------------|----------|
|                 |                | 持株数(千株)      | 議決権比率(%) |
| 株式会社三井住友銀行      | 8,187          | 1,137        | 4.7      |
| 株式会社東京三菱銀行      | 8,147          | 859          | 3.6      |
| 株式会社UFJ銀行       | 3,172          | 701          | 2.9      |
| 株式会社みずほコーポレート銀行 | 2,374          |              |          |

## (9) 取締役及び監査役の状況

| 地 位     | 氏 名     | 担当又は主な職業                                               |
|---------|---------|--------------------------------------------------------|
| 代表取締役社長 | 大 竹 茂   |                                                        |
| 代表取締役専務 | 小 手 勇   | 新機種統括・品質統括                                             |
| 代表取締役専務 | 小 塚 正   | 開発本部長                                                  |
| 常務取締役   | 小 川 栄   |                                                        |
| 常務取締役   | 小 山 利   | 生産本部長                                                  |
| 常務取締役   | 清 水 政   | ユー エス ヤチヨ インコーポ<br>レーテッド(米国)取締役社長                      |
| 常務取締役   | 杉 山 幸   | 管理本部長                                                  |
| 常務取締役   | 吉 田 一   | ユー ワイ ティー リミテッド<br>(英国)取締役社長                           |
| 取締役     | 山 下 祐   | 学校法人成城学園 常務理事                                          |
| 取締役     | 久 保 田 祐 | 開発本部営業部長                                               |
| 取締役     | 大 竹 守   | ヤチヨ オブ オンタリオ マニュファク<br>チュアリング インコーポレーテッド<br>(カナダ)取締役社長 |
| 取締役     | 小 松 泰   | 開発副本部長                                                 |
| 取締役     | 横 井 晴   | 生産副本部長                                                 |
| 取締役     | 西 海 幸   | 品質監理・新機種・NYサークル・<br>SIS・TQM担当                          |
| 取締役     | 坂 田 英   | エー ワイ マニュファクチュア<br>リング リミテッド(米国)取<br>締役社長              |
| 監査役(常勤) | 小 山 三   |                                                        |
| 監査役(常勤) | 千 葉 光   |                                                        |
| 監査役     | 植 木 政   |                                                        |
| 監査役     | 津 田 眞   |                                                        |

- (注) 1. 取締役 山下祐司は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。
2. 監査役 植木政弘及び同 津田真人の両氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。
3. 当期中に退任した取締役は、次のとおりであります。  
前 島 光 廣(平成15年6月24日退任)  
山 畑 勇 治(平成15年6月24日退任)
4. 当期中に退任した監査役は、次のとおりであります。  
後 藤 博 宣(平成15年6月24日退任)

(注) 営業報告書の記載数値のうち、百万単位及び千単位については、それぞれ単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 貸借対照表

(平成16年3月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目        | 金 額          | 科 目          | 金 額        |
|------------|--------------|--------------|------------|
| 資産の部       | 85,849,406   | 負債の部         | 60,585,870 |
| 流動資産       | 34,815,498   | 流動負債         | 42,364,751 |
| 現金及び預金     | 1,309,033    | 支払手形         | 345,164    |
| 受取掛手形      | 196,136      | 買掛金          | 23,797,336 |
| 売掛金        | 28,717,914   | 短期借入金        | 1,500,000  |
| 製材         | 284,866      | 1年内返済予定長期借入金 | 4,922,740  |
| 原材料        | 960,589      | 1年内償還予定社債    | 4,000,000  |
| 仕掛品        | 807,085      | 未払金          | 4,413,367  |
| 貯蔵品        | 562,103      | 未払費用         | 490,004    |
| 前払費用       | 21,957       | 未払法人税等       | 630,652    |
| 繰延税金資産     | 1,079,134    | 預り金          | 69,977     |
| 短期貸付       | 23,422       | 前受収益         | 3,109      |
| 未収入金       | 839,183      | 賞与引当金        | 1,778,179  |
| その他        | 14,073       | 役員賞与引当金      | 19,000     |
| 固定資産       | 51,033,859   | 未払消費税等       | 224,429    |
| (有形固定資産)   | (33,647,430) | 設備支払手形       | 170,789    |
| 建物         | 7,339,492    | 固定負債         | 18,221,119 |
| 構築物        | 999,283      | 長期借入金        | 15,458,520 |
| 機械及び装置     | 14,510,912   | 繰延税金負債       | 71,701     |
| 車両運搬具      | 36,707       | 退職給付引当金      | 2,255,829  |
| 工具・器具及び備品  | 3,080,684    | 役員退職慰労引当金    | 208,251    |
| 土地         | 7,065,841    | その他          | 226,817    |
| 建設仮勘定      | 614,509      | 資本の部         | 25,263,535 |
| (無形固定資産)   | (110,949)    | 資本金          | 3,685,600  |
| 借地権        | 65,397       | 資本剰余金        | 3,504,075  |
| ソフトウェア権    | 29,790       | 資本準備金        | 3,504,066  |
| 施設利用権      | 15,761       | その他資本剰余金     | 8          |
| (投資その他の資産) | (17,275,480) | 自己株式処分差益     | 8          |
| 投資有価証券     | 4,862,046    | 利益剰余金        | 16,003,275 |
| 子会社株式      | 8,554,060    | 利益準備金        | 509,364    |
| 子会社出資金     | 984,280      | 任意積立金        | 14,529,289 |
| 長期前払費用     | 2,610,513    | 圧縮記帳積立金      | 429,289    |
| 敷金・差入保証金   | 51,996       | 別途積立金        | 14,100,000 |
| 事業保険積立金    | 133,666      | 当期末処分利益      | 964,620    |
| その他        | 70,807       | 株式等評価差額金     | 2,081,453  |
| 貸倒引当金      | 87,660       | 自己株式         | 10,868     |
| 繰延資産       | 79,550       |              |            |
| 社債発行差金     | 47           |              |            |
|            | 47           |              |            |
| 資産合計       | 85,849,406   | 負債及び資本合計     | 85,849,406 |



## 損 益 計 算 書

(平成15年4月1日から  
平成16年3月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目            |              | 金           | 額           |
|----------------|--------------|-------------|-------------|
| 経常<br>損益<br>の部 | 営業収益         |             | 203,352,926 |
|                | 営業費用         |             |             |
|                | 売上原価         | 197,711,788 |             |
|                | 販売費及び一般管理費   | 4,439,037   | 202,150,826 |
|                | 営業利益         |             | 1,202,100   |
|                | 営業外収益        |             |             |
|                | 受取利息及び配当金    | 745,826     |             |
|                | 固定資産賃貸料      | 38,414      |             |
|                | その他の営業外収益    | 26,023      | 810,264     |
|                | 営業外費用        |             |             |
| 支払利息           | 305,526      |             |             |
| たな卸資産廃却損       | 39,423       |             |             |
| その他の営業外費用      | 18,386       | 363,336     |             |
|                | 経常利益         |             | 1,649,028   |
| 特別<br>損益<br>の部 | 特別利益         |             |             |
|                | 固定資産売却益      | 1,445       | 1,445       |
|                | 特別損失         |             |             |
|                | 固定資産処分損      | 201,442     |             |
|                | 貸倒引当金繰入額     | 5,050       |             |
|                | ゴルフ会員権評価損    | 5,800       | 212,292     |
|                | 税引前当期純利益     |             | 1,438,182   |
|                | 法人税、住民税及び事業税 |             | 1,201,421   |
|                | 法人税等調整額      |             | 632,784     |
|                | 当期純利益        |             | 869,545     |
|                | 前期繰越利益       |             | 369,098     |
|                | 中間配当額        |             | 144,159     |
|                | 合併による抱合株式消却損 |             | 129,863     |
|                | 当期末処分利益      |             | 964,620     |

## 注記事項

### 【重要な会計方針】

1. 有価証券の評価基準については、次のとおりであります。  
子会社株式及び関連会社株式は、総平均法による原価法により評価しております。  
時価のあるその他有価証券は、決算末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は、総平均法により算定）により、時価のないその他有価証券は、総平均法による原価法により評価しております。
2. たな卸資産の評価基準及び評価方法は、製品、原材料及び仕掛品については、総平均法による原価法、貯蔵品については、最終取得原価法によっております。
3. 有形固定資産の減価償却方法は、定率法を採用しております。  
ただし、工具・器具及び備品のうち、金型については定額法を採用しております。
4. 無形固定資産の減価償却方法は、定額法を採用しております。  
なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。
5. 繰延資産の処理方法は、社債発行差金については、商法施行規則の規定する償還期限内に每期均等額を償却しております。
6. 貸倒引当金は、債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
7. 賞与引当金は、従業員に対する賞与の支給に充てるため、翌期支払予定額のうち当期に属する支給対象期間に見合う額を計上しております。
8. 役員賞与引当金は、役員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額を計上しております。  
なお、当該引当金は、商法施行規則第43条に規定する引当金であります。
9. 退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。  
なお、会計基準変更時差異については、15年による按分額を費用処理しております。  
過去勤務債務は、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（15年）による定額法により費用処理しております。  
数理計算上の差異は、各期の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（15年）による定額法により、それぞれ発生翌期より費用処理しております。
10. 役員退職慰労引当金は、役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。  
なお、当該引当金は、商法施行規則第43条に規定する引当金であります。

11. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

12. 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

#### 【追加情報】

1. 当期から、「役員賞与の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第13号平成16年3月9日 企業会計基準委員会)を適用し、役員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額を引当金計上しております。

これに伴い、従来の方法によった場合に比べ、販売費及び一般管理費は19,000千円多く、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益はそれぞれ同額少なく計上されております。

2. 従来、賞与に対応する社会保険料会社負担額は支出時の費用として処理していましたが、平成15年4月から社会保険料の算定方法に総報酬制が導入されたことに伴い、重要性が増したため、当期から賞与引当金に対応する負担額を費用処理する方法に変更しております。

これに伴い、従来の方法によった場合に比べ、売上総利益は148,060千円少なく、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益はそれぞれ166,403千円少なく計上されております。

#### 【貸借対照表注記】

1. 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額は、60,093,043千円であります。

3. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、コンピューター機器、金型及びフォークリフト等については、リース契約により使用しております。

4. 子会社に対する金銭債権及び債務は、次のとおりであります。

|        |           |
|--------|-----------|
| 短期金銭債権 | 752,474千円 |
| 短期金銭債務 | 8,898千円   |

5. 保証債務は、次のとおりであります。

|      |              |
|------|--------------|
| 保証債務 | 10,027,507千円 |
| 保証予約 | 1,015,060千円  |

6. 担保に供している資産は、次のとおりであります。

|        |             |
|--------|-------------|
| 建築物    | 5,687,308千円 |
| 構築物    | 355,714千円   |
| 機械及び装置 | 356,594千円   |
| 土地     | 4,289,500千円 |

7. 商法施行規則第124条第3号に規定する純資産額は、2,081,453千円であります。

#### 【損益計算書注記】

1. 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 子会社との取引高は、次のとおりであります。

|            |             |
|------------|-------------|
| 売上高        | 1,694,106千円 |
| 仕入高        | 1,219千円     |
| 営業取引以外の取引高 | 767,423千円   |

3. 当期の研究開発費の総額は、1,192,461千円であります。

4. 1株当たり当期純利益は、36円19銭であります。

5. 合併による抱合株式消却損は、当社が非連結子会社2社を吸収合併したことによるものであります。

## 利益処分案

(単位：円)

| 摘 要                     | 金 額         |
|-------------------------|-------------|
| 当 期 未 処 分 利 益           | 964,620,852 |
| 圧 縮 記 帳 積 立 金 取 崩 額     | 6,571,651   |
| 計                       | 971,192,503 |
| これを次のとおり処分いたします。        |             |
| 配 当 金<br>( 1 株につき 6 円 ) | 144,153,150 |
| 別 途 積 立 金               | 500,000,000 |
| 次 期 繰 越 利 益             | 327,039,353 |

(注) 平成15年12月3日に、144,159,240円(1株につき6円)の中間配当を実施いたしました。

# 会計監査人の監査報告書の謄本

## 独立監査人の監査報告書

平成16年4月30日

八千代工業株式会社  
取締役会 御中

### 新日本監査法人

代表社員 公認会計士 佐野正彦 ㊞  
関与社員

関与社員 公認会計士 矢定俊博 ㊞

当監査法人は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第2条第1項の規定に基づき、八千代工業株式会社の平成15年4月1日から平成16年3月31日までの第51期営業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、営業報告書（会計に関する部分に限る。）及び利益処分案並びに附属明細書（会計に関する部分に限る。）について監査を行った。なお、営業報告書及び附属明細書について監査の対象とした会計に関する部分は、営業報告書及び附属明細書に記載されている事項のうち会計帳簿の記録に基づく記載部分である。この計算書類及び附属明細書の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から計算書類及び附属明細書に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及び附属明細書に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及び附属明細書の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。なお、この監査は、当監査法人が必要と認めて実施した子会社に対する監査手続を含んでいる。

監査の結果、当監査法人の意見は次のとおりである。

- (1) 貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い会社の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 営業報告書（会計に関する部分に限る。）は、法令及び定款に従い会社の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 利益処分案は、法令及び定款に適合しているものと認める。
- (4) 附属明細書（会計に関する部分に限る。）について、商法の規定により指摘すべき事項はない。

会社と当監査法人又は関与社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 監査役会の監査報告書の謄本

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成15年4月1日から平成16年3月31日までの第51期営業年度の取締役の職務の執行に関し、各監査役から監査の方法及び結果の報告を受け、協議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役の監査の方法の概要

各監査役は、監査役会が定めた監査の方針、業務の分担等に従い、取締役会その他重要な会議に出席するほか、取締役等から営業の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査し、また、会計監査人から報告及び説明を受け、計算書類及び附属明細書につき検討を加えました。子会社に対しても営業の報告を求めこれを受領し、また、必要に応じて子会社に赴き、業務及び財産の状況を調査しました。

取締役の競業取引、取締役と会社間の利益相反取引、会社が行った無償の利益供与、子会社又は株主との通例的でない取引並びに自己株式の取得及び処分等に関しては、上記の監査の方法のほか、必要に応じて取締役等に対し報告を求め、当該取引の状況を詳細に調査いたしました。

#### 2. 監査の結果

- (1) 会計監査人新日本監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。
- (2) 営業報告書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 利益処分に関する議案は、会社財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項は認められません。
- (4) 附属明細書は、記載すべき事項を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。
- (5) 取締役の職務遂行については、子会社に関する職務も含め、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。  
なお、取締役の競業取引、取締役と会社間の利益相反取引、会社が行った無償の利益供与、子会社又は株主との通例的でない取引並びに自己株式の取得及び処分等についても取締役の義務違反は認められません。

平成16年5月6日

八千代工業株式会社 監査役会

監査役(常勤) 小 山 三 二 ㊟

監査役(常勤) 千 葉 光 三 ㊟

監 査 役 植 木 政 弘 ㊟

監 査 役 津 田 眞 人 ㊟

(注) 監査役 植木政弘、同 津田真人は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

以 上

## 議決権の行使についての参考書類

1. 総株主の議決権の数 23,952個
2. 議案及び参考事項

### 第1号議案 第51期利益処分案承認の件

議案の内容は、前記の添付書類（12頁）に記載のとおりであります。

当期の利益処分につきましては、財務体質の強化並びに今後の事業展開等を勘案いたしまして、引き続き内部留保に努めたいと存じます。

当期の期末配当金につきましては、1株につき6円（中間配当金を含め年間12円）といたしたいと存じます。

### 第2号議案 役員賞与支給の件

当期業績の功労に報いるため、取締役及び監査役に対し、役員賞与19,000,000円（うち監査役賞与1,950,000円）を支給いたしたいと存じます。  
なお、支給の対象となる取締役は15名、監査役は2名であります。

### 第3号議案 定款一部変更の件

#### 1. 変更の理由

- (1) 平成16年3月1日に簡易合併方式により、フロンティア工業株式会社及び株式会社トーイクを吸収合併したことに伴い、企業活動の現状に適応させるため、事業目的の追加及び所要の変更を行うものであります。
- (2) 「商法及び株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律の一部を改正する法律」（平成15年法律第132号）が平成15年9月25日に施行され、定款の定めをもって取締役会の決議による自己株式の買受けが認められました。これに伴い機動的な資本政策を遂行できるよう、定款第6条（取締役会決議による自己株式の買受け）を新設するものであります。

また、上記の新設に伴い、現行定款第6条以下の条数の順次繰り下げを行うとともに所要の変更を行うものであります。

## 2. 変更の内容

変更の内容は次のとおりであります。

(下線は変更部分を示します。)

| 現 行 定 款                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 変 更 案                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(目的)<br/>第2条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。</p> <p>(1) 〃 &lt; 条文の記載省略 &gt;</p> <p>(4) &lt; 新 設 &gt;</p> <p>(5) 前各号に関連する一切の業務</p> <p>&lt; 新 設 &gt;</p> <p>第6条 〃 &lt; 条文の記載省略 &gt;</p> <p>第33条</p> <p>附則</p> <p>第25条の規定にかかわらず、平成14年5月1日後最初の決算期に関する定時株主総会の終結前に在任する監査役については、なお従前のおり任期は3年とする。本附則は当該経過措置の期間が満了した時これを削除する。</p> | <p>(目的)<br/>第2条 &lt; 現行のとおり &gt;</p> <p>(1) 〃 &lt; 現行のとおり &gt;</p> <p>(4) &lt; 倉庫業および不動産の賃貸 &gt;</p> <p>(6) &lt; 現行のとおり &gt;</p> <p><u>(取締役会決議による自己株式の買受け)</u></p> <p>第6条 当社は、<u>商法第211条ノ3第1項第2号の規定により、取締役会の決議をもって自己株式を買受けることができる。</u></p> <p>第7条 〃 &lt; 現行のとおり &gt;</p> <p>第34条</p> <p>附則</p> <p>第26条の規定にかかわらず、平成14年5月1日後最初の決算期に関する定時株主総会の終結前に在任する監査役については、なお従前のおり任期は3年とする。本附則は当該経過措置の期間が満了した時これを削除する。</p> |



第4号議案 取締役15名選任の件

取締役全員（15名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。  
つきましては、取締役15名をご選任願いたいと存じます。  
取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)           | 略歴<br>印は他の会社の代表者であるときの社名・役職名                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 所有する<br>当社<br>株式の数 |
|-------|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1     | 大竹 茂<br>(昭和23年3月29日生)  | 昭和41年10月 当社入社<br>昭和58年6月 同 取締役<br>昭和62年1月 同 四日市製作所四輪工場長<br>昭和62年6月 同 常務取締役<br>平成3年6月 同 専務取締役<br>平成5年6月 同 管理統括兼企画室長<br>平成9年6月 同 代表取締役（現任）<br>平成10年6月 同 取締役副社長<br>平成12年6月 同 取締役社長（現任）<br>平成12年6月 同 部品事業本部長<br>八千代工業（中山）有限公司 董事長                                                                                     | 191,000株           |
| 2     | 手塚 正人<br>(昭和23年9月21日生) | 昭和46年4月 本田技研工業(株)入社<br>昭和59年4月 (株)本田技術研究所和光研究所<br>主任研究員<br>平成9年6月 ホンダアールアンドディノ<br>ースアメリカズ・インコーポレ<br>レーテッド副社長<br>平成14年4月 当社社長付<br>平成14年6月 同 常務取締役<br>平成14年6月 同 開発担当<br>平成15年5月 同 部品事業本部長<br>平成15年6月 同 代表取締役（現任）<br>平成15年6月 同 専務取締役（現任）<br>平成16年2月 同 開発本部長（現任）                                                      | 4,000株             |
| 3     | 青山 利夫<br>(昭和22年12月7日生) | 昭和41年4月 本田技研工業(株)入社<br>平成6年6月 同 日本本部国内二輪本部熊<br>本製作所四輪工場長<br>平成9年1月 同 日本本部国内二輪本部浜<br>松製作所四輪工場長<br>平成11年6月 同 日本本部国内生産本部鈴<br>鹿製作所管理部長<br>平成13年4月 同 生産本部鈴鹿製作所事業<br>管理部長<br>平成13年6月 当社取締役<br>平成13年6月 同 完成車事業本部担当<br>平成13年10月 同 完成車事業本部完成車生<br>産本部長<br>平成14年4月 同 完成車事業本部長<br>平成14年6月 同 常務取締役（現任）<br>平成16年2月 同 生産本部長（現任） | 4,000株             |

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生 年 月 日)        | 略 歴<br>印は他の会社の代表者であるときの社名・役職名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 所有する<br>当 社<br>株式の数 |
|-----------|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 4         | 清 水 政 和<br>(昭和22年6月9日生) | 昭和41年4月 当社入社<br>平成3年6月 同 四日市製作所管理室長<br>平成4年11月 同 企画室長<br>平成5年6月 同 取締役<br>平成5年6月 同 総務部長<br>平成9年6月 同 製品企画・営業・購買担<br>当<br>平成10年6月 ヤチヨ オブ オンタリオ<br>マニユファクチュアリング<br>インコーポレーテッド取締役<br>社長<br>平成10年6月 ワイ エム テクノロジー<br>インコーポレーテッド取締役<br>社長<br>平成12年6月 当社常務取締役(現任)<br>平成13年5月 ヤチヨ オブ アメリカ イン<br>コーポレーテッド取締役社<br>長(現任)<br>平成15年5月 ユー エス ヤチヨ インコ<br>ーポレーテッド取締役社長<br>(現任)<br>ヤチヨ オブ アメリカ インコーポー<br>レーテッド取締役社長<br>ユー エス ヤチヨ インコーポーレーテッ<br>ド取締役社長 | 5,000株              |
| 5         | 杉 山 幸 右<br>(昭和22年2月5日生) | 昭和40年4月 本田技研工業(株)入社<br>昭和63年4月 ビー・ティ・ホンダプロスペ<br>クトエンジンマニユファク<br>チュアリング主査<br>平成7年6月 本田技研工業(株)四輪事業本部<br>生産企画室経理主幹<br>平成13年4月 当社社長付<br>平成13年6月 同 取締役<br>平成13年6月 同 経理担当<br>平成14年4月 同 管理本部長(現任)<br>平成14年6月 同 常務取締役(現任)                                                                                                                                                                                                                  | 3,000株              |

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生 年 月 日)         | 略 歴<br>印は他の会社の代表者であるときの社名・役職名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 所有する<br>当 社<br>株式の数 |
|-----------|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 6         | 吉 田 一 郎<br>(昭和26年7月23日生) | 昭和52年4月 当社入社<br>昭和60年8月 同 四日市製作所業務課長<br>平成元年5月 ヤチヨ オブ オンタリオ<br>マニファクチュアリング<br>インコーポレーテッド管理部<br>長<br>平成5年9月 同 副社長<br>平成8年3月 当社海外事業部長<br>平成9年6月 同 取締役<br>平成9年10月 エー ワイ マニファクチュ<br>アリング リミテッド取締<br>役社長<br>平成12年12月 当社管理本部海外事業企画室<br>長<br>平成13年4月 同 管理本部事業企画室長<br>平成13年11月 同 部品事業本部技術本部長<br>代行<br>平成14年4月 同 部品事業本部技術本部長<br>平成14年6月 同 常務取締役(現任)<br>平成16年2月 ヤチヨ インダストリー(ユ<br>ーケー)リミテッド取締役社<br>長(現任)<br>平成16年2月 ユー ワイ ティー リミテ<br>ッド取締役社長(現任)<br>ヤチヨ インダストリー(ユーケー)リミテ<br>ッド取締役社長<br>ユー ワイ ティー リミテッド取締役社<br>長 | 8,200株              |
| 7         | 山 下 祐 司<br>(昭和13年11月8日生) | 昭和37年4月 (株)日本相互銀行(現株)三井住<br>友銀行)入行<br>平成3年6月 (株)太陽神戸三井銀行(現株)三<br>井住友銀行)取締役<br>平成6年6月 (株)さくら銀行(現株)三井住友<br>銀行)常務取締役<br>平成8年6月 同 専務取締役<br>平成9年6月 同 副頭取<br>平成10年6月 太陽火災海上保険(株)(現日本<br>興亜損害保険(株))代表取締役<br>会長<br>平成14年6月 当社取締役(現任)<br>平成14年11月 学校法人成城学園常務理事<br>(現任)                                                                                                                                                                                                                                        | 3,000株              |

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)            | 略歴<br>印は他の会社の代表者であるときの社名・役職名                                                                                                                                                                                                                                                                              | 所有する<br>当社<br>株式の数 |
|-------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 8     | 久保田 博<br>(昭和23年10月25日生) | 昭和57年6月 当社入社<br>平成4年2月 同 鈴鹿製作所管理室長<br>平成8年3月 同 栃木研究所製品企画室長<br>平成9年2月 同 管理本部製品企画室長<br>平成10年6月 同 取締役(現任)<br>平成10年6月 同 営業本部長<br>平成12年6月 同 部品事業本部営業本部長<br>平成16年2月 同 開発本部営業部長(現任)                                                                                                                              | 9,100株             |
| 9     | 大竹 守<br>(昭和28年3月17日生)   | 昭和50年4月 当社入社<br>平成2年4月 同 本社パーツサービス部長<br>平成9年2月 同 部品事業本部生産企画室長<br>平成11年2月 ユー エス ヤチヨ インコーポレーテッド取締役社長<br>平成11年6月 当社取締役(現任)<br>平成15年5月 ヤチヨ オブ オンタリオ マニユファクチュアリング インコーポレーテッド取締役社長(現任)<br>平成15年5月 ワイ エム テクノロジー インコーポレーテッド取締役社長(現任)<br>ヤチヨ オブ オンタリオ マニユファクチュアリング インコーポレーテッド取締役社長<br>ワイ エム テクノロジー インコーポレーテッド取締役社長 | 202,370株           |
| 10    | 小松 泰典<br>(昭和22年6月1日生)   | 昭和46年4月 本田技研工業(株)入社<br>昭和59年4月 (株)本田技術研究所和光研究所主任研究員<br>平成8年8月 ホンダールランドディノースアメリカズ・インコーポレーテッド取締役<br>平成10年7月 当社に出向<br>平成10年7月 同 栃木研究所所付<br>平成11年6月 同 開発本部長<br>平成12年1月 本田技研工業(株)を退職<br>平成12年6月 当社取締役(現任)<br>平成12年6月 同 部品事業本部開発本部長<br>平成16年2月 同 開発副本部長(現任)                                                     | 5,000株             |

| 候補者番号 | 氏名(生年月日)              | 略歴<br>印は他の会社の代表者であるときの社名・役職名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 所有する当社株式の数 |
|-------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 11    | 横井晴彦<br>(昭和23年3月29日生) | 昭和60年9月 当社入社<br>平成2年4月 同 浜松工場長<br>平成4年4月 同 営業部長<br>平成9年4月 同 部品事業本部鈴鹿工場長<br>平成10年6月 同 部品本部鈴鹿工場長<br>平成12年6月 同 取締役(現任)<br>平成12年6月 同 部品事業本部生産本部長<br>平成16年2月 同 生産副本部長(現任)                                                                                                                                                                                                                                                              | 8,200株     |
| 12    | 西海幸男<br>(昭和24年10月5日生) | 昭和43年4月 本田技研工業(株)入社<br>昭和63年4月 (株)本田技術研究所栃木研究所<br>技術主幹<br>平成9年8月 本田技研工業(株)日本本部四輪<br>生産本部埼玉製作所品質管理<br>室製品技術ブロック技術主幹<br>平成10年6月 同 日本本部国内生産本部埼<br>玉製作所品質管理室製品技術<br>ブロック技術主幹<br>平成12年1月 当社部品本部柏原工場技術主<br>幹<br>平成12年2月 同 部品本部柏原工場品質保<br>証責任者<br>平成12年6月 同 部品事業本部生産本部柏<br>原工場品質保証責任者<br>平成13年9月 同 部品事業本部生産本部品<br>質保証責任者柏原工場担当<br>平成14年6月 同 取締役(現任)<br>平成14年6月 同 品質監理・新機種・NY<br>サークル・S I S・T Q M担<br>当(現任)<br>平成15年3月 同 部品事業本部品質保証室<br>長 | 6,000株     |
| 13    | 坂田英男<br>(昭和30年3月1日生)  | 昭和51年4月 当社入社<br>平成9年6月 同 栃木研究所海外事業部長<br>平成12年6月 同 管理本部海外事業企画室<br>長<br>平成12年12月 エーワイ マニュファク<br>チュアリング リミテッド取締<br>役副社長<br>平成15年6月 当社取締役(現任)<br>平成16年1月 エーワイ マニュファク<br>チュアリング リミテッド取締<br>役社長(現任)<br>エーワイ マニュファクチュアリング<br>リミテッド取締役社長                                                                                                                                                                                                  | 10,200株    |

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生 年 月 日)          | 略 歴<br>印は他の会社の代表者であるときの社名・役職名                                                                                                           | 所有する<br>当 社<br>株式の数 |
|-----------|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 14        | 森 口 清 一<br>(昭和24年11月29日生) | 昭和52年1月 本田技研工業㈱入社<br>平成12年4月 同 事業管理本部経理部長<br>平成12年6月 同 取締役(現任)                                                                          | 3,000株              |
| 15        | 山 田 敏 雄<br>(昭和26年5月8日生)   | 昭和47年4月 本田技研工業㈱入社<br>平成8年9月 同 日本本部国内二輪本部熊本製作所生産技術室技術推進<br>ブロックリーダー<br>平成11年6月 ホンダイタリアインダストリ<br>アーレ・エス・ピー・エー工<br>場長<br>平成16年4月 当社社長付(現任) | 3,000株              |

- (注) 1. 取締役候補者森口清一及び山田敏雄は、新任候補者であります。
2. 取締役候補者山下祐司は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役の候補者であります。
3. 取締役候補者吉田一郎は、ユー ワイ ティー リミテッドの取締役社長を兼務しており、同社は当社と同一の営業の部類に属する取引を行っております。
4. 取締役候補者大竹 守は、ワイ エム テクノロジー インコーポレーテッドの取締役社長を兼務しており、同社は当社と同一の営業の部類に属する取引を行っております。
5. 取締役候補者坂田英男は、エー ワイ マニュファクチュアリング リミテッドの取締役社長を兼務しており、同社は当社と同一の営業の部類に属する取引を行っております。
6. その他の取締役候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。

#### 第5号議案 監査役2名選任の件

監査役千葉光三氏は、本総会終結の時をもって任期満了となります。また、監査役小山三二氏は、本総会終結の時をもって退任されます。つきましては、監査役2名をご選任願いたいと存じます。

監査役候補者は、次のとおりであります。

なお、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生 年 月 日)         | 略 歴<br>印は他の会社の代表者であるときの社名・役職名                                                                                                | 所有する<br>当 社<br>株式の数 |
|-----------|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1         | 千 葉 光 三<br>(昭和21年12月8日生) | 昭和45年4月 当社入社<br>平成3年6月 同 鈴鹿製作所部品工場長<br>平成7年2月 同 監査室長<br>平成8年3月 同 部品事業本部柏原工場<br>長<br>平成9年2月 同 部品事業本部製造部長<br>平成10年6月 同 監査役(現任) | 11,000株             |

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生 年 月 日)           | 略 歴<br>印は他の会社の代表者であるときの社名・役職名                                                                                                                                                                                                                                                         | 所有する<br>当 社<br>株式の数 |
|-----------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 2         | 桜 井 貞 雄<br>(昭和24年11月 8 日生) | 昭和43年 4月 本田技研工業(株)入社<br>平成 5年 6月 ホンダオブアメリカマニュ<br>ファクチュアリング・イン<br>コーポレーテッド技師<br>平成 8年12月 本田技研工業(株)日本本部四<br>輪生産本部埼玉製作所完成<br>車事業部塗装・樹脂工場プ<br>ラスチック課技術主幹<br>平成 9年 4月 同 日本本部四輪生産本部<br>埼玉製作所完成車事業部塗<br>装・樹脂工場塗装・樹脂企<br>画推進ブロック技術主幹<br>平成13年 6月 同 生産本部海外生産支援<br>センター事業計画支援プロ<br>ック生産技術主幹(現任) | 0株                  |

- (注) 1. 監査役候補者桜井貞雄氏は、新任候補者であります。また、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役の候補者であります。
2. 監査役候補者千葉光三氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役の候補者であります。
3. 監査役候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。

#### 第6号議案 退任取締役及び退任監査役に対する退職慰労金贈呈の件

本総会終結の時をもって退任される取締役小見勇三及び小川栄一の両氏並びに監査役小山三二氏に対し、在任中の功労に報いるため、当社の内規に従い、退職慰労金を贈呈いたしたいと存じます。

なお、その具体的金額、贈呈の時期及び方法は、取締役については取締役会に、監査役については監査役の協議にご一任願いたいと存じます。

退任取締役及び退任監査役の略歴は、次のとおりであります。

| 氏 名     | 略 歴                                                        |
|---------|------------------------------------------------------------|
| 小 見 勇 三 | 平成 7年 6月 当社取締役<br>平成 9年 6月 同 常務取締役<br>平成12年 6月 同 専務取締役(現任) |
| 小 川 栄 一 | 平成11年 6月 当社常務取締役(現任)                                       |
| 小 山 三 二 | 平成12年 6月 当社監査役(現任)                                         |

以 上

# 定時株主総会会場ご案内図

会場 埼玉県狭山市柏原393番地

当社本社 2階

電話 04(2955)1211



## 〔鉄道〕

西武新宿線狭山市駅西口より

1. タクシーで約15分
2. 西武バス「智光山公園」行にて「狭山工業団地北」下車徒歩で約3分
3. 西武バス「日生団地」行にて終点「日生団地」下車徒歩で約15分

## 〔自動車〕

1. 関越自動車道 川越I.C.から約20分
2. 圏央道 狭山・日高I.C.から約5分